

5月例会は「ココシリ」

定例総会の報告

例会のお知らせ



名称 / 第42回例会「ココシリ」

日時 / 5月26日(火) PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室 (JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



【例会作品データ】

タイトル / ココシリ

監督 / ルー・チューアン

出演 / デュオ・ブジエ、チャン・レイ ガイ、キイリヤン、チャオ・シュエジェン

データ / 2004年、中国・香港、1時間28分、35mm、アドベンチャードラマ / ヒューマン

解説 / チベット高原の海拔4700メートルに位置する過酷な山岳地帯「ココシリ」を舞台に、密猟団からチベットカモシカを守るため組織された民間パトロール隊の命がけの壮絶な活動の記録を追った感

動のアクションドラマ。監督はルー・チューアン。

海拔4700メートルに広がる無人地帯「ココシリ」に棲息するチベットカモシカは、毛皮を目的とした密猟で絶滅の危機に瀕していた。そこで、地元有志で山岳パトロール隊を結成し、命懸けの密猟取り締まりを続けていた。

そんなある日、隊員の一人が密猟者に殺される。その調査のため北京からココシリへとやって来た記者ガイ。彼はパトロール隊とともに、密猟者を追撃する旅に同行することになる。しかしそこは、ガイの想像を遥かに超える厳しい現実が待ち受けていた。

2009年度定例総会との報告

2009年度の加古川シネマクラブ定例総会を4月28日(火)に加古川総合文化センター会議室1で開催し、昨年度の報告と今年度の計画が承認されましたので、その要旨を報告します。

まず、2008年度の全体的な報告としては、例会や上映会などの活動は、ほぼ計画のとおり実施することができました。

収支は、会員数の減少に伴う会費収入が約22万円減少しましたが、加古川での「おくりびと」上映会の協力に対して約13万円の手数料をいただいたことと支出経費節減によって約2万円の赤字で収まりました。これは、各方面や個人からの援助があるからで、会費で例会を開催するという本来の形では、実質収支は8万円以上の赤字でした。

最大の問題は、会員数が2割以上減少し、会の運営が厳しくなってきたことです。この対策として、会員の皆さんにも強く呼びかけ、団塊の世代層や新しい住民などにチラシ配布など入会勧誘を行うことと、マスコミやミニコミへの話題や記事の提供を積極的に行っていくことになりました。

また、辻岡博さんが新しく運営委員として加わりました。

次に、2009年度の活動計画と予算についてです。

この会の中心の活動である2か月に1回の映画鑑賞会を例会として実施します。作品の選定には、多数の良い作品候補が必要ですので、推薦作品をお伝えください。その他、一般の方を対象とした日本映

画の上映会を文化庁支援事業として補助金を受けて開催します。今年は、補助金が削減されるため、赤字が出る心配があります。作品は、加古川市内でロケが行われた「火垂るの墓」で、日向寺太郎監督をお招きする計画を進めています。

また、他の団体などが加古川地域で開催する映画上映会に協力します。この会の会員が、宣伝を手伝ったり、チケットの販売に協力したり、当日のスタッフとして協力します。すでに、決定しているものは、6月14日に加古川市民会館の「旭山動物園物語」上映会(兵庫県映画センター主催)に協力します。

これらの活動を行う経費ですが、例会1回につき20万円くらいかかります。フィルム代、会場代、郵送代、資料コピー代が主なものです。このためには、約200人分の会費収入が必要です。その他、他の団体が主催する映画上映会に協力したときに、前売券販売手数料や当日スタッフの食事代程度の協力金をいただける場合があるので、この分も収入として計上し、その程度の額を、各地の映画行事への参加する人への補助として支出に充てたりしています。

このように、例年通り、例会を中心とした活動計画を立てています。



(総会風景、中央が辻岡さん)

運営委員に選任され

本年度の総会に参加して運営委員に選任されました辻岡です、よろしくお願ひします。3月の例会に初めて参加し、今回運営委員へとスピード出世です？さて、今年見た映画では「その木戸を通して」がとて印象に残っています。特に冒頭から始まる日本家屋から映し出す竹林の美しさ、そして雨に煙る中を行く娘。物語は記憶を失った娘が、とある屋敷を訪れその若い当主の心遣いで世話になり、ふさと名づけられる。やがて二人は結ばれ子供を授かるが、ある日記憶が戻りその木戸を通して去っていくという話です。映画の中の美しい映像と優しい人たちに感動して映画館の木戸を抜けていくことができます。ところが、現実には優しい人ばかりではありませんでした。小生の場合は突然会社の門を出てハローワー

クへと去っていくことになりました。現実には厳しいものです！現世を忘れるためにまた映画館に通う日々になりそうです・・・。(辻岡博)

全国映連総会参加報告

4月11・12日に東京で開かれた、全国映連総会・全国映連賞贈呈式&記念パーティに参加してきました。

総会では、各地の様々な経験が報告され、人が多く集うところは、会員数とは全く関係なく、よく飲んでいることが共通点としてありました。例会外上映会、機関紙など部会を持っているところも、そのために人が集まったりしているようで、活動の分野を広げていくことについて考えさせられました。

贈呈式では、男優賞の本木雅弘さん、山崎努さん、女優賞の安田成美さん、滝田洋二郎監督などが本人出席で大いに盛り上がり、2ショットの嵐でもありました。製作側とのほんのひとときの交流でしたが、本木さんが実に普通の好青年、山崎さんはダンディ、安田さんは映画で見るより美人で背が高い、など感じて、いい経験をさせてもらいました。



(健)

前回例会の報告

3月24日の例会では、「オフサイドガールズ」を鑑賞しました。参加会員113人。鑑賞者が少ないのももったいない気持ちになります。

おもしろいテーマの娯楽映画でした。台詞の多さや盛上げかたなどは、ふだん見慣れている、アメリカや日本の作品と異なりお国柄を感じさせるものでした。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数158人(3月24日現在)